

起立性調節障害に起因する不登校対策を

質問者 森

亘

起立性調節障害は主に思春期前後の児童・生徒の約10%が罹患しており、不登校の要因の一つが重症化によるものとされている。

しかし、現在この病気に対しての認識不足から学校や家庭での適切な対応がなされず、罹患している多くの児童・生徒が症状を悪化させている。そこで、次の3点を教育長に伺う。

- ① 起立性調節障害に対して、教員の認識は。
- ② この病気に起因して登校できない児童・生徒に対する対策は。
- ③ 保護者等への周知は。